テンプレート（雛形）の作成方法【図面編集】

文書管理番号：1270-01

Q.質 問

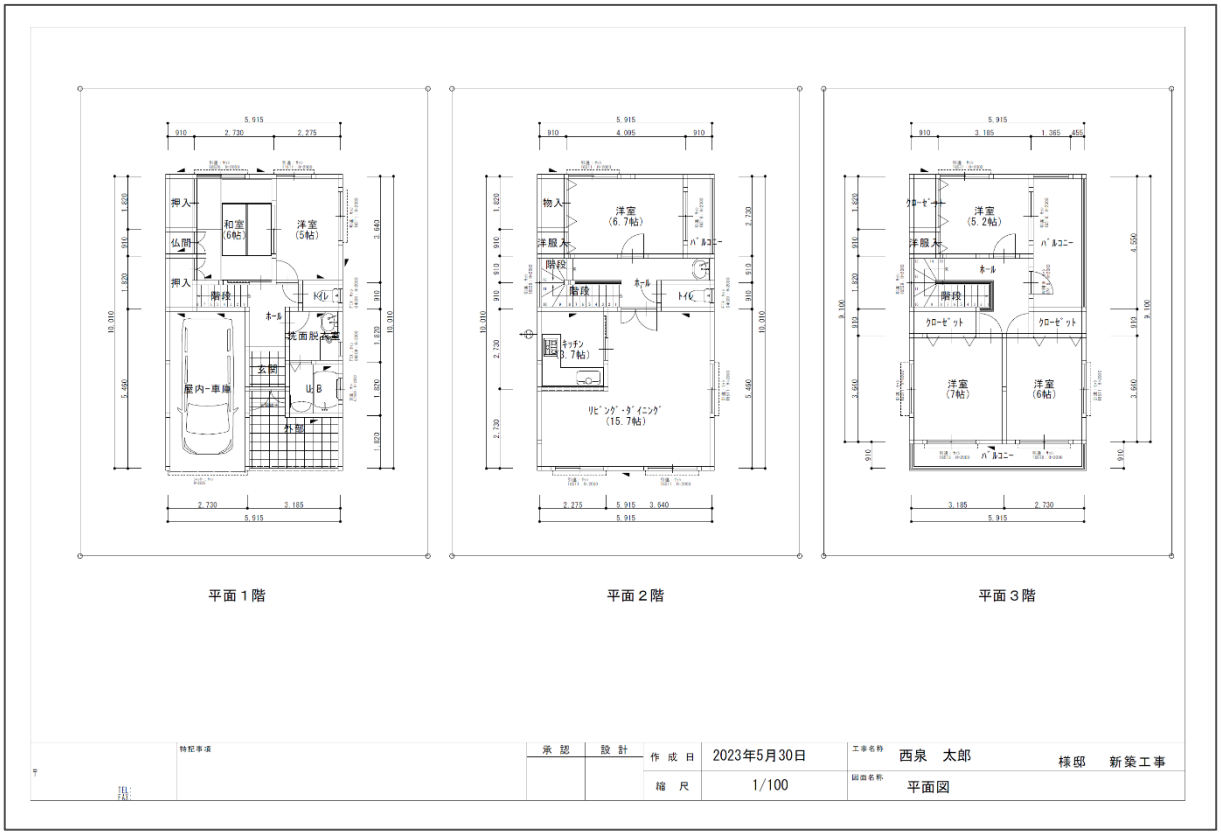
図面編集のテンプレート（雛形）を任意に作成したい。

A.回 答

図面編集でテンプレート枠を配置し、読み込みたい図面や文字を設定して保存します。 各アプリケーションから出力したファイルを読み込み、図面を作成することができます。

ここでは、3 階建ての物件を例に、A3 用紙 1 枚に、1 階・2 階・3 階の間取りを並べて配置する方法を説明します。

プラン図で、 (平面図図面出力)を実行し、平面図 1 階から 3 階までのファイル保存が完了している状態から説明します。



【参考】

図面の出力方法として、図面編集の他に、 (図面マネージャ)があります。

図面マネージャを使用すると、各種図面の管理、編集、印刷などが簡単に行えます。

図面枠の作成機能や、図面の一括更新機能等があり、まとめて図面を出力するのに便利です。

図面マネージャを利用したテンプレートの作成方法は、こちらをご覧ください。

[1096] テンプレート（雛形）の作成方法【図面マネージャ】

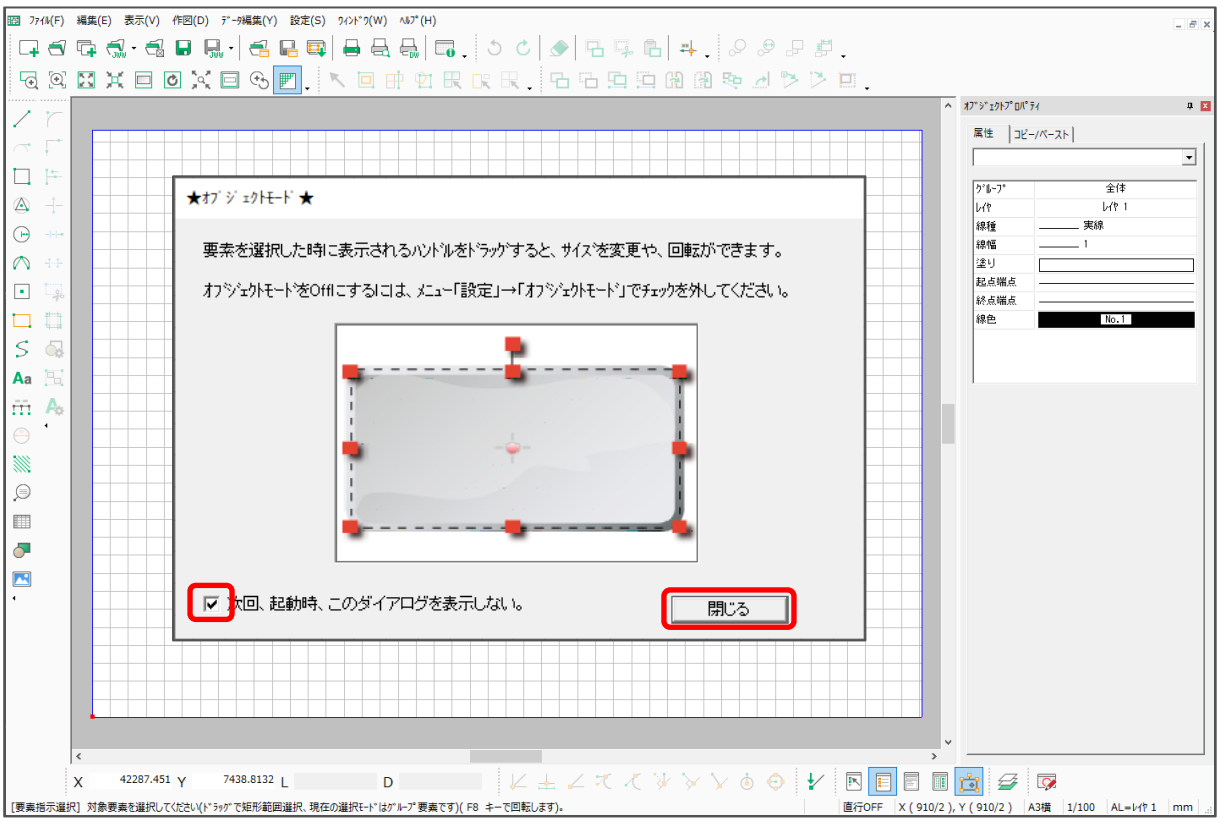
[1181] 自社図面枠を作成・利用する方法【図面マネージャ】

操作手順

- テンプレートを作成する前に

① (図面編集)を起動

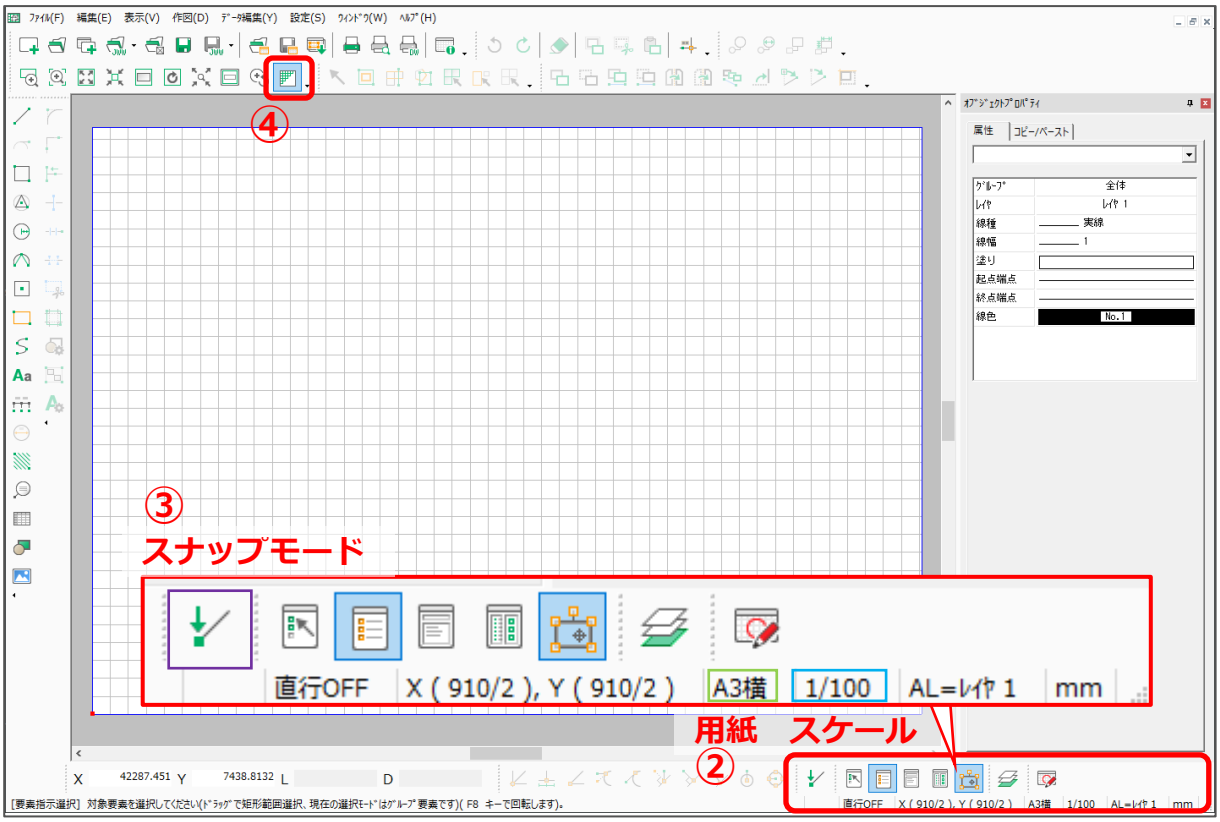
＊ オブジェクトモードの画面が表示されたら、内容を確認後、「次回、起動時、このダイアログを表示しない。」にチェックを入れ、「閉じる」をクリックしてください。



② 画面右下のステータスバーから、「用紙」「スケール」を確認

＊ ここでは、用紙サイズ「A3 横」、スケール「1/100」になっていることを確認します。

＊ ツールバーの「設定」⇒「用紙」、「設定」⇒「スケール」から確認してもかまいません。



③ 画面右下のポイントバーから、「スナップモード」を確認

＊ 初期設定では (オンエッジ)になっています。 (オングリッド)になるようにクリックして切り替えてください。

④ 画面上にグリッドが表示されていることを確認

＊ グリッドが表示されていない場合は、 (グリッド)をクリックしてください。

＊ キーボードの[G]キーでも、グリッド表示 ON/OFF を切り替えることができます。
キーによる切り替えは、日本語入力が無効（直接入力/半角英数）の状態で行ってください。

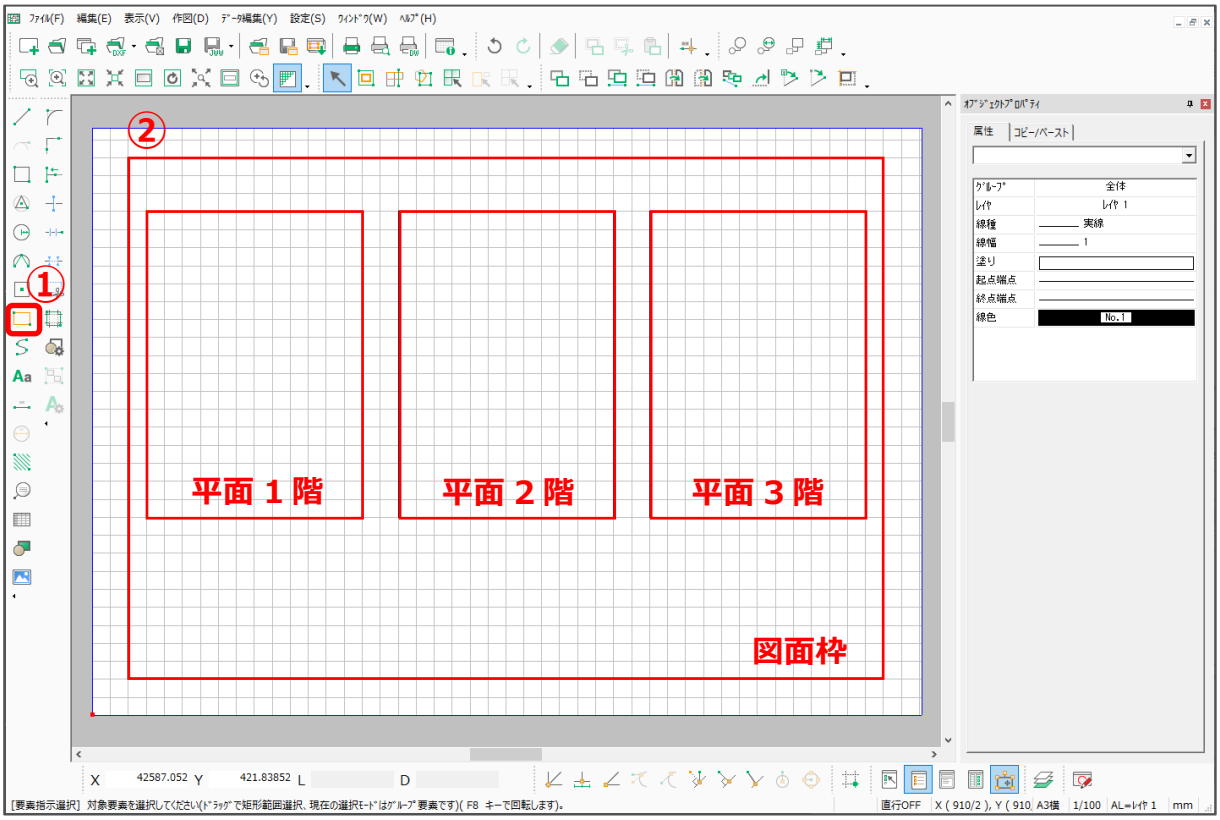
- テンプレート枠を配置

① (テンプレート枠)をクリック

＊　ツールバーの「作図」⇒「テンプレート」⇒「テンプレート枠」から選択してもかまいません。

② 図面を配置したい位置に、テンプレート枠を任意に配置

＊　ここでは、図面枠、平面 1 階、平面 2 階、平面 3 階の、計 4 つのテンプレート枠を配置します。



＊　分かりやすくするために、テンプレート枠を赤色で表示しています。

【参考】

テンプレート枠の大きさは、対象の図面が読み込まれるおおよその位置を示すためのものです。テンプレート枠内に図面が収まるように表示されるわけではないため、正確にサイズを合わせる必要はありません。

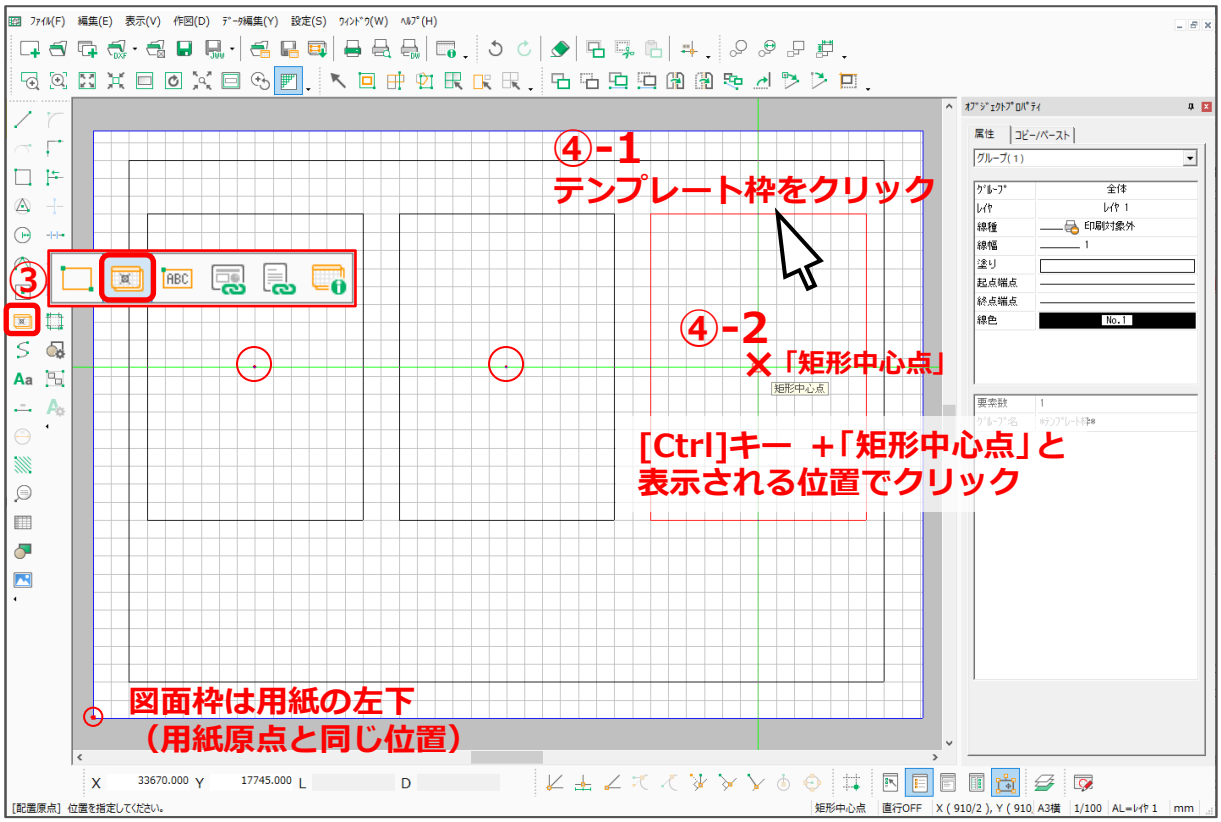
③ (テンプレート枠)にマウスを合わせ、表示されるメニューから(原点設定)をクリック

＊ ツールバーの「作図」⇒「テンプレート」⇒「原点設定」から選択してもかまいません。

④ 配置したテンプレート枠をクリックし、原点位置としたい位置でクリック

＊ ここでは、図面枠は用紙の左下、平面 1 階から 3 階はテンプレート枠の中心に原点位置を設定します。

図面枠は、ここでは用紙原点と同じ位置になります。平面 1 階から 3 階は、[Ctrl]キーを押しながら、「矩形中心点」と表示される位置でクリックしてください。



【参考】

テンプレートの原点は、詳細図や図面を読み込む際の配置基準になります。例えば、平面図の場合、プラン図の原点位置が詳細データの基準点となり、テンプレートの原点として指示した位置に合わせて読み込まれます。図面枠などの ZCD ファイルは、その図面の原点そのものが基準点となります。

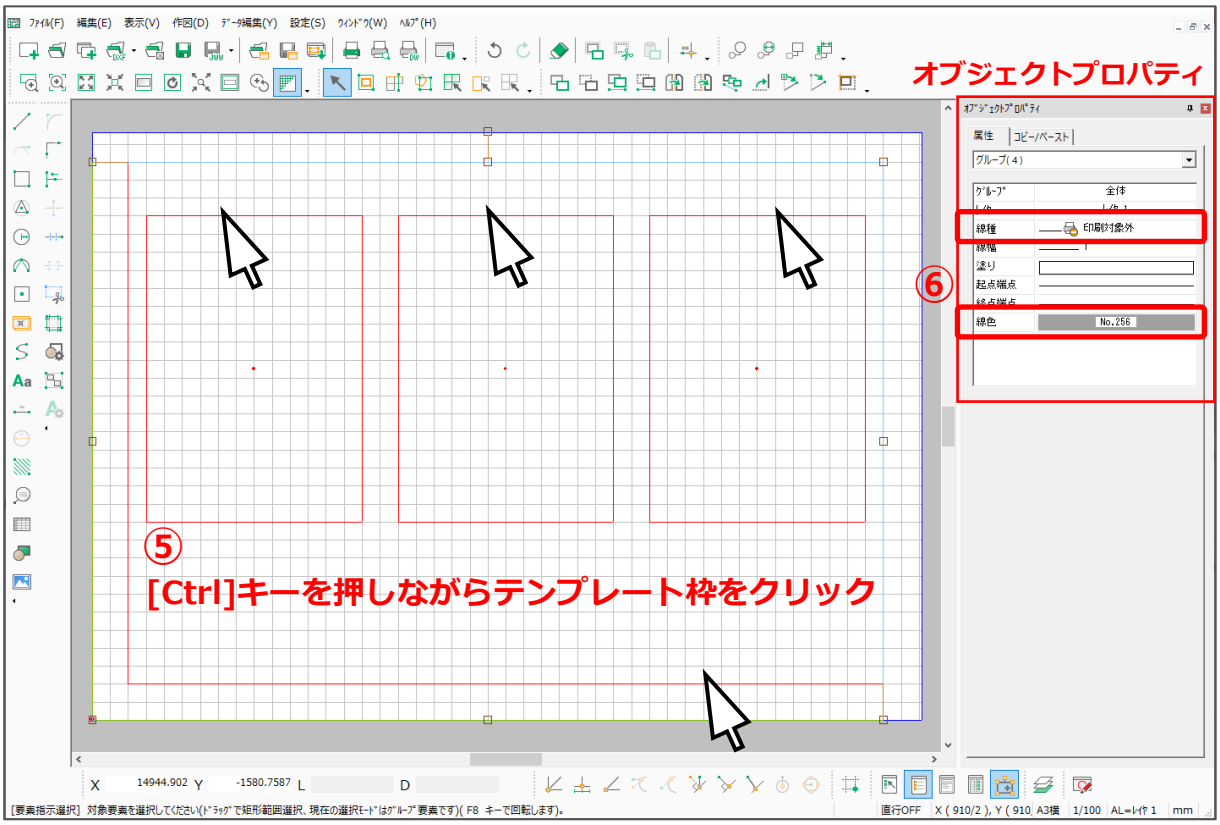
平面図や立面図を左右に並べてレイアウトする場合は、それぞれのテンプレートの原点位置を揃えておくことで、読み込まれた詳細図の表示位置が揃います。

テキストファイルリンクの場合は、原点設定は不要です。

⑤ (要素選択)をクリックし、[Ctrl]キーを押しながら、配置したテンプレート枠をすべてクリック

＊　複数のテンプレート枠が同時選択されます。

⑥ 画面右にある「オブジェクトプロパティ」から、線種を「印刷対象外」、線色を「グレー（No.256）」に設定



＊　テンプレート枠が印刷対象外、また、図面を読み込んだ際にテンプレート枠が目立たないようになります。

＊　線色や線の太さについては、必要に応じて (属性変更)から変更してください。

属性変更の方法について、詳しくはこちらをご覧ください。

[1262] 複数要素の属性をまとめて変更する方法【図面編集】

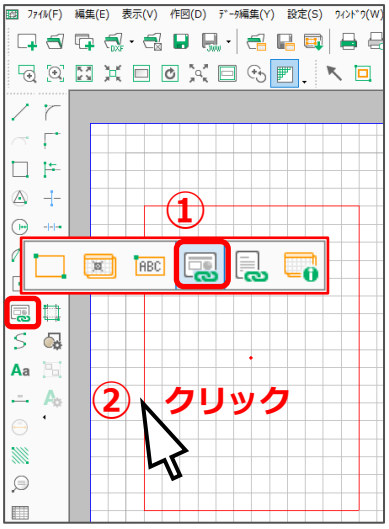
＊　オブジェクトプロパティについて、詳しくはこちらをご覧ください。

[1263] オブジェクトプロパティの表示方法【選択図面編集】【図面編集】

- テンプレート枠にリンクを設定

① (原点設定)にマウスを合わせ、(ファイルリンク)をクリック

＊ ツールバーの「作図」⇒「テンプレート」⇒「ファイルリンク」から選択してもかまいません。



② ファイルリンクを設定したいテンプレート枠をクリック

＊ ここでは、平面図 1 階のテンプレート枠をクリックします。

＊ 図面選択の画面が表示されます。

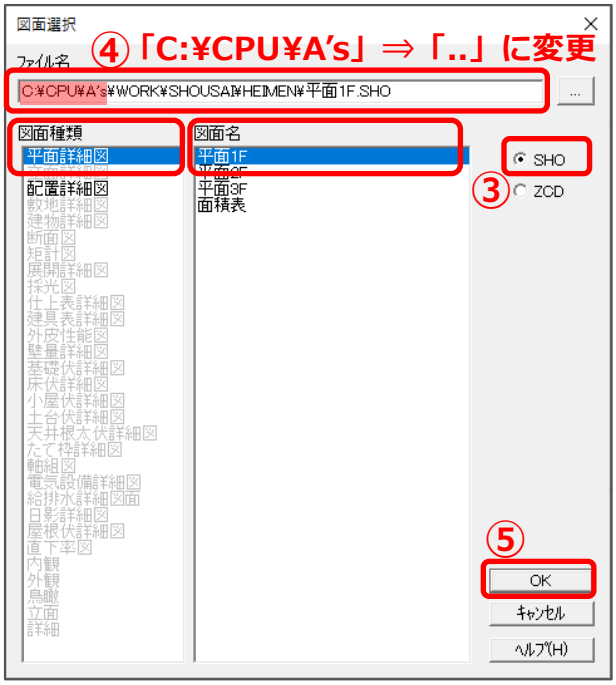
③ 読み込みたい図面を選択

＊ ここでは、「SHO」が選択されていることを確認し、

・図面種類「平面詳細図」

・図面名「平面 1F」

を選択します。



④ ファイル名を相対パスに修正

＊ ここでは、

[C:¥CPU¥A's]を削除し、

[..¥WORK¥SHOUSAI¥HEIMEN

¥平面 1F.SHO]

になるように書き換えます。

【参考】

図面選択後、ファイル名のパス情報を相対パスの記述に修正すると、作成したテンプレートを別のパソコンの図面編集で利用するときに便利です。

「C:¥CPU¥A's」（インストールフォルダ）の部分を、「..」（ピリオド 2 つ）に変更すると相対パスとなり、A's のインストールフォルダやドライブが異なる環境でも、そのまま利用できます。

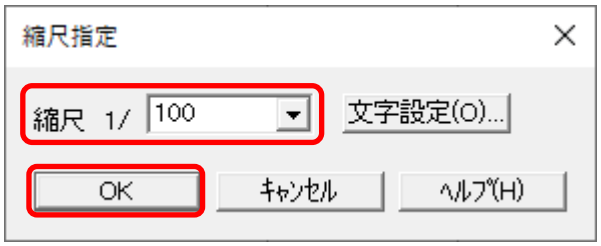
⑤ 「OK」をクリック

＊ 縮尺設定の画面が表示されます。

⑥　縮尺を設定し、「OK」をクリック

＊　ここでは、縮尺「1/100」とします。

＊　平面図 1 階のテンプレート枠にファイルリンクが設定されます。



⑦　P.7 操作②からの手順で、残りの平面テンプレート枠も同様に設定

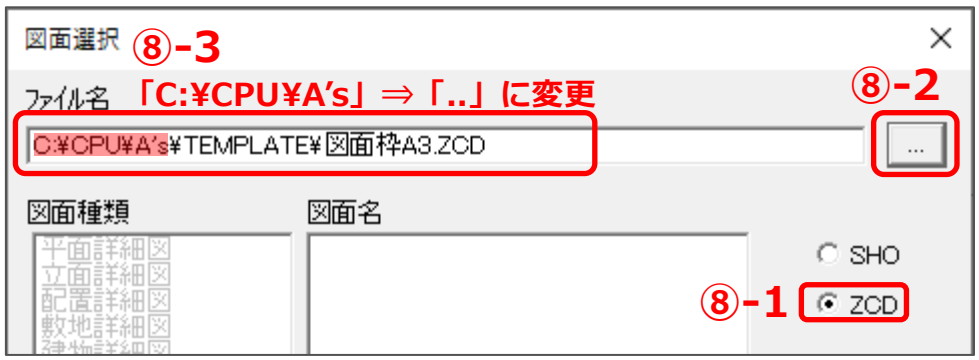
＊　平面 1 階から 3 階までのテンプレート枠にファイルリンクが設定されます。

⑧　同様に、P.7 操作②からの手順で、図面枠も設定

＊　図面枠は ZCD ファイルになるため、図面選択の画面で「ZCD」に切り替え、「…」ボタンをクリックし、以下のファイルを選択します。

C ドライブ ⇒ CPU フォルダ ⇒ A's フォルダ ⇒ TEMPLATE フォルダ

⇒ 図面枠 A3.ZCD ファイル



＊　「OK」をクリックすると、縮尺設定画面が表示されます。

設定は初期設定のままで、「OK」をクリックします。

- 文字の設定

① (テンプレート読込)をクリック

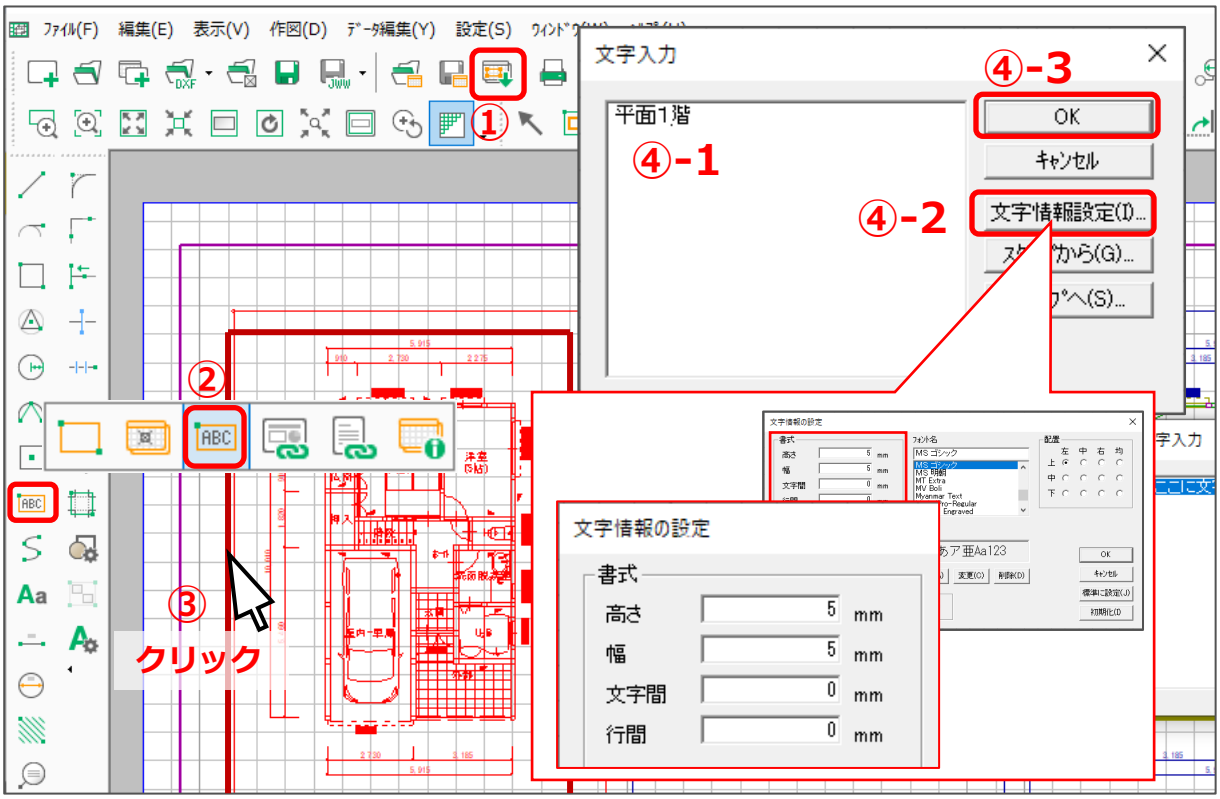
＊　文字の設定で図面枠の位置を確認するため、図面を読み込んでおきます。

② (ファイルリンク)にマウスを合わせ、(文字配置)をクリック

＊　ツールバーの「作図」⇒「テンプレート」⇒「文字配置」から選択してもかまいません。

③　平面 1 階のテンプレート枠をクリック

＊　文字入力の画面が表示されます。



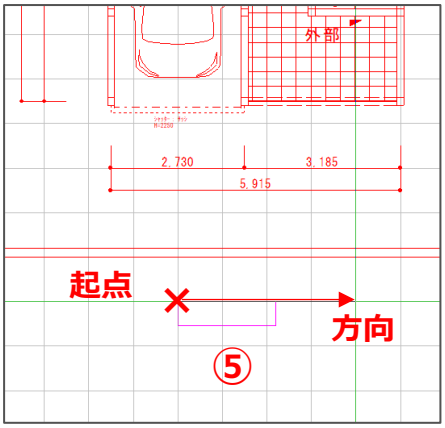
＊　分かりやすくするために、テンプレート枠を赤太線で表示しています。

④　図面名称を入力し、サイズを調整して「OK」をクリック

＊　ここでは、図面名称を「平面 1 階」、文字情報設定から文字サイズを「高さ・幅：5mm」で設定します。

⑤　図面名称を配置する位置に起点－方向で文字を配置

＊　設定したフォントサイズで、図面名称が配置されます。



⑥　同様に、「平面２階」「平面３階」も配置

＊　各階の平面図に図面名称が配置されます。

● 図面枠の文字設定

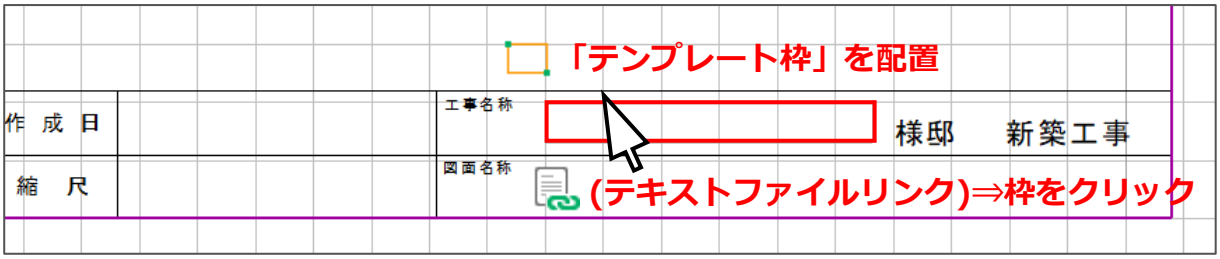
①　(文字配置)にマウスを合わせ、(テンプレート枠)をクリック

＊　ツールバーの「作図」⇒「テンプレート」⇒「テンプレート枠」から選択してもかまいません。

②　「工事名称」にテンプレート枠を配置

＊　配置後、P.6 操作⑥のように、線種を「印刷対象外」、線色を「グレー（No.256）」に設定しておきます。

＊　スナップモードが(オングリッド)だと、テンプレート枠が配置しづらい場合があります。配置しづらい場合は、(オンエッジ)や(フリー)に切り替えてください。



③　(テンプレート枠)にマウスを合わせ、(テキストファイルリンク)をクリック

＊　ツールバーの「作図」⇒「テンプレート」⇒「テキストファイルリンク」から選択してもかまいません。

④　「工事名称」に配置したテンプレート枠をクリック

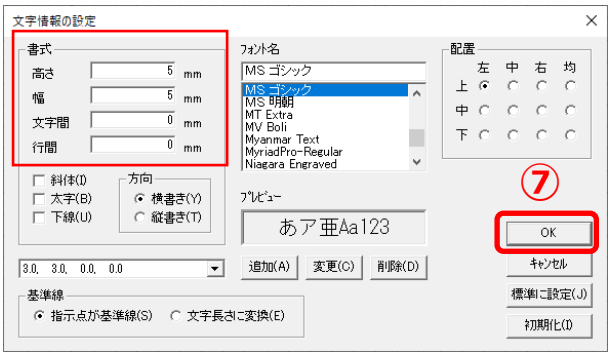
＊　文字リンクの画面が表示されます。

⑤　分類「概要情報」の情報「施主名」を選択し、ファイル名を相対パスに変更

＊　P.７操作④のように、ファイル名の「C:¥CPU¥A's」を「..」に書き換えます。

⑥　「OK」をクリック

＊　文字情報の設定画面が表示されます。



⑦　文字サイズを設定し、「OK」をクリック

＊　ここでは、P.9 操作④と同様に、文字サイズを「高さ・幅：5mm」とします。

⑧　続けて、「作成日」もテンプレート枠を配置し、文字リンクで「西暦」を設定

＊　工事名称と作成日が設定されます。

⑨　(テキストファイルリンク)にマウスを合わせ、(文字配置)をクリック

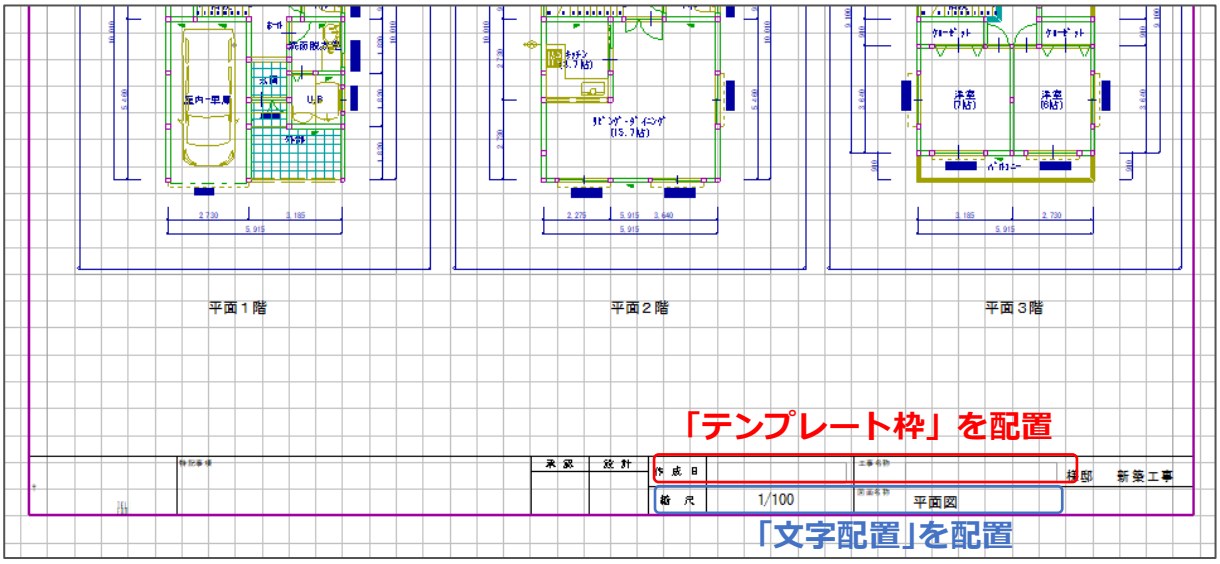
＊　ツールバーの「作図」⇒「テンプレート」⇒「文字配置」から選択してもかまいません。

⑩　図面枠のテンプレート枠をクリック

＊　文字入力の画面が表示されます。

⑪　P.9 操作②～P.10 操作⑤を参考に、「縮尺」と「図面名称」を配置

＊　ここでは、縮尺を「1/100」、図面名称を「平面図」とします。



【参考】図面枠に直接入力

会社名や「新築工事」のような工事名称の一部などの、どのような図面でも共通する文字は、直接図面枠に記載すると、図面枠とともに読み込めます。

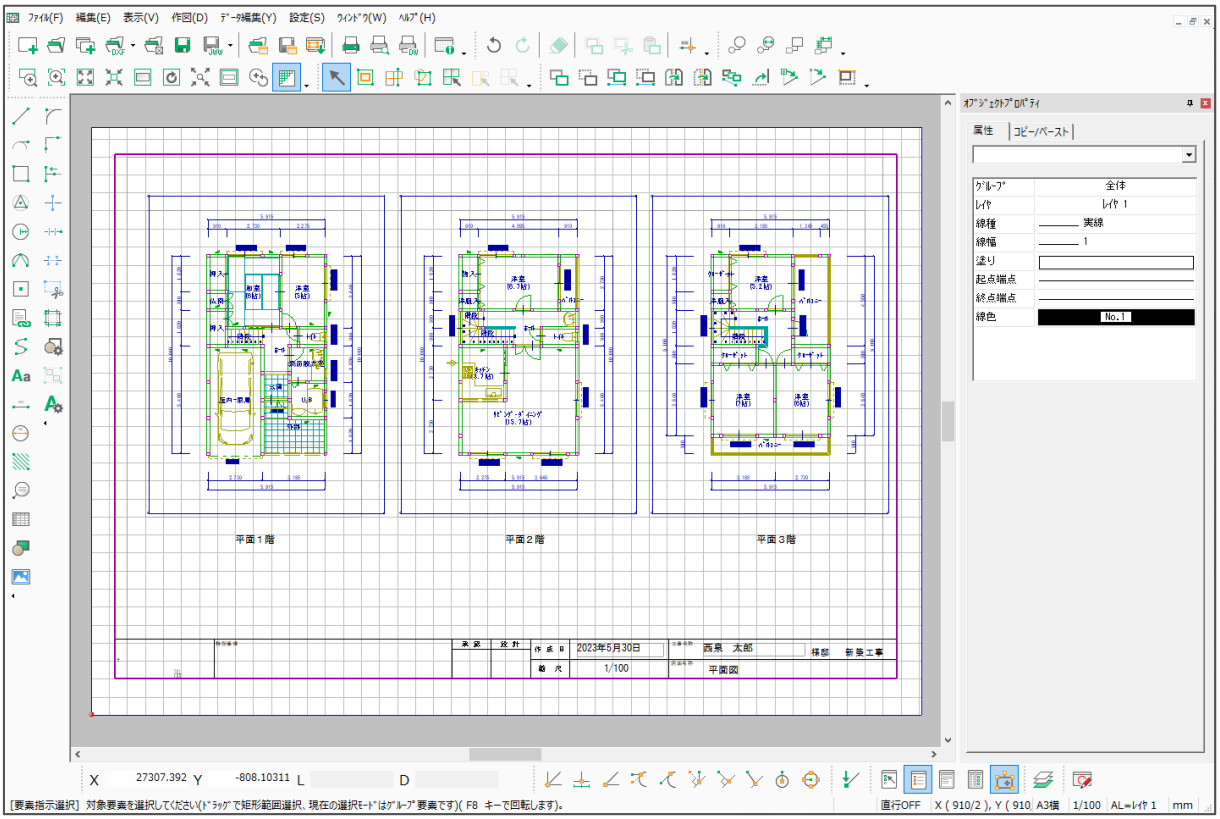
「図面枠 A3.ZCD」ファイルに、直接文字入力しておけば、図面枠に「図面枠 A3.ZCD」を利用するテンプレートを使用した場合に、文字が表示された状態で読み込まれます。

＊「図面枠 A3.ZCD」は、A's（エース）インストール時に初期搭載されている図面枠のため、A's（エース）の再インストールや更新インストールで初期化される場合があります。

- テンプレートとして保存

① (テンプレート読込)をクリックし、読み込まれるデータを確認

＊　ツールバーの「ファイル」⇒「テンプレートにデータを読み込む」から選択してもかまいません。



＊　テンプレート枠を設定した部分に、データが読み込まれます。

② (テンプレートとして保存)をクリックし、名前を付けて保存

＊　ツールバーの「ファイル」⇒「テンプレートの保存」から保存してもかまいません。

＊　次回、 (テンプレートを開く)から選択できます。